

海江田万里 候補者の政見・略歴・推薦人名簿

立候補にあたっての決意

この度、次に行われる代表選挙に出馬の決意を固めました。その決意の一端を申し上げます。

まずもって、先の大震災において被災された皆さんに心よりお見舞いを申し上げ、亡くなられた皆様に衷心よりお悔やみ申し上げます。今なお多くの行方不明の皆様、不便な避難所暮らしや仮設住宅住まいを余儀なくなされている皆様がいらっしゃることは、慙愧に耐えない気持ちでいっぱいであります。

私は震災発災当初から今日に至るまで、福島第一原子力発電所の担当大臣であります。国民の皆さんから、政府の対応に必ずしもご納得いただけていないことは十分承知いたしております。

原発事故発災当初は、正に修羅場でありました。そしていろいろな制度面での不備も痛感いたしました。

原発事故の一連の経緯については、私自身、政府の対応について、内心忸怩たる想いがあることも事実であります。原発事故の被害者の皆さんには申し訳ない気持ちでいっぱいです。

しかしその上で、修羅場をくぐった私にしか分からないこと、私ならできることがある、そしてそれをこの国の最高責任者として実行したい、福島県、東北地方の皆様はもとより、放射性物質の影響に不安をおぼえていらっしゃるお子さんをお持ちの親御さんをはじめとする全国民の皆様は一刻も早く安心・安全をお感じいただけるようにしたい、その想いで、不肖の身でありながら、立候補を決意いたしました。

経済、財政、外交など日本を取り巻く環境と政策課題は一刻の猶予もなく政治に決断を迫っております。特に震災に加えて、現下の急激な円高や産業の空洞化をはじめ、日本経済は危機的な状況にあります。被災地を支え、復興のためにも、わが国は活力を取り戻さねばなりません。

私たちの日本は、必ず復興を成し遂げます。そのためにも衆知を集めなければなりません。民主党はもちろんのこと、政治家と官僚、与党と野党、在野の皆さんに至るまで日本国のもつ力を総動員し、戦後営々と築き上げてきた国富を活用して、日本を生まれ変わらせた。私はただただその中心になりたいのです。

私たちが立ち返らなければならない原点があります。それは2年前の8月31日に国民の皆さんとお約束をしたマニフェスト「国民の生活が第一」の姿勢です。

政権交代に掲げた理念・哲学を大切にしながら、政治と民主党に失われた信頼を取り戻し、誰もが安心を感じられる日本、一生涯生きがいを持って暮らせる日本、子供達が自分の夢にチャレンジできる日本を再構築するべく、身命を賭してまいります。

皆様のご理解とご支持を心よりお願い申し上げます。

民主党代表選にあたっての政見

衆議院議員 海江田 万里

I 基本的理念

1. 政治のあるべき姿～政権交代の原点に立つ～

- ・改めて、「国民の生活が第一」の政治の実現に全力を尽くす。
- ・政権交代が目指した「政治主導」「地域主権」「絆の社会」を実行する。

2. マニフェスト～理念の堅持と現実的深化～

- ・09マニフェストの各項目について、漸進的充実、達成を図る。
- ・財源等の現実を見据えつつも、その理念を堅持する。

II 基本政策～持続可能な社会をめざして～

1. 震災復興～国家的責任としての早期復興～

- ・最優先課題と位置づけ、適材適所の人材配置と十分な予算措置を行う。
- ・福島第一原発の廃炉処理と放射性物質除染は国の責任により行う。
- ・被災者の生活再建に万全を期す。
- ・震災の教訓から危機管理体制を再構築する。
- ・党原発PT第一次報告書を着実に実行する。
- ・建設国債・無利子国債などにより、増税なき復興財源を捻出する。

2. 原発・エネルギー政策～エネルギー政策の抜本的改訂～

- ・2020年代初頭までに、原発への依存度を20%以下に引き下げる。
- ・自然エネルギーを成長産業と捉えて育成し、2020年代初頭までに総発電量の20%に引き上げる。
- ・原則、新規建設は凍結し、40年以内に原発ゼロをめざす。
- ・原子力安全委員会の改組とメンバーの刷新を速やかに行う。

3. 経済成長戦略～景気回復と雇用増～

- ・為替介入にあわせて、円高のメリットを活かし、将来の日本の発展に資するべく、資源・エネルギーの長期取得権などを購入する。
- ・アジアの新興国市場を内需に取り込む。
- ・一括交付金制度の拡充により地方にカネが回るようにする。
- ・「新しい公共」をさらに推進し、雇用の創出をはかる。
- ・日銀と協調して金融緩和をすすめる。

4. 行財政改革～国の歳出を総点検～

- ・ 一般会計・特別会計を一体的に徹底改革する。
- ・ 独立行政法人や公益法人、特殊会社等についてゼロベースで見直す。
- ・ 天下り問題等を含む公務員制度改革を断行する。

5. 外交・安全保障～より対等・緊密へ～

- ・ 日米同盟を深化させ、役割分担を明確化する。
- ・ 国連を中心とした平和維持活動・国際協力活動に積極的に参加する。
- ・ 「東アジア共同体」構想を中心とした地域間の信頼を構築する。

6. 経済連携～主導的な自由貿易の促進～

- ・ F T A、E P Aなどを積極的に展開する。
- ・ T P Pは慎重に検討する。
- ・ これらの前提として農業等の国内産業へ十分な配慮を行う。

7. 教育～21世紀を担う人づくり～

- ・ 全ての地域、全ての家族の子どもたちの自己実現への支援を行う。
- ・ グローバルスタンダード教育の実現と教育のグローバル化を行う。

8. 社会保障～「全世代対応型」社会保障の構築～

- ・ 年金給付水準の保証と医療介護のO E C D水準並みを確保する。
- ・ 基礎的社会保障財源として、景気回復後に消費税導入を検討する。その場合には逆進性に配慮する。
- ・ 「未来への投資」型子ども子育て支援策を策定する。

9. 農政～持続可能な日本の農林水産業の再生～

- ・ 食料自給率50%をめざす。
- ・ 戸別所得補償制度をさらに充実させる。

Ⅲ 政策決定プロセスの再構築

1. 国民主導～政・官の役割分担を明確に～

- ・ 政策決定プロセスをより透明化する。
- ・ 「政府与党一体化」における党主導を確立する。
- ・ 政府・国会・与党間の調整活動に与党議員を大幅に活用する。
- ・ 政治主導確立法等の成立を目指す。
- ・ 審議会の整理合理化とメンバーの総入れ替えを行う。

海江田 万里(かいえだ ばんり)

生年月日 昭和 24 年 2 月 26 日

出身地 東京都

衆議院議員 東京 1 区、当選 5 回

略歴

昭和 47 年 3 月 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
議員秘書を経て経済評論家

平成 5 年 7 月 第 40 回衆議院議員選挙に日本新党から立候補、当選

8 年 9 月 鳩山由紀夫、菅 直人氏らと民主党結成

8 年 10 月 第 41 回衆議院議員選挙当選
予算委員会、決算委員会、大蔵委員会委員

12 年 6 月 第 42 回衆議院議員選挙当選
国家基本政策委員会、予算委員会、財務金融委員会委員
民主党東京都総支部連合会会長 就任

14 年 民主党政策調査会長 就任

15 年 11 月 第 43 回衆議院議員選挙当選
国家基本政策委員会理事、予算委員会委員

21 年 8 月 第 45 回衆議院議員選挙で 5 期目の当選
予算委員会理事、安全保障委員会委員

22 年 6 月 財務金融委員長
9 月 菅 改造内閣で内閣府特命担当大臣
(経済財政政策・科学技術政策)、宇宙政策担当大臣

23 年 1 月 経済産業大臣

座右の銘 「人生意気二感ズ」

趣味 漢詩、読書、絵画鑑賞

家族 妻、長女

推薦人名簿（25名）

赤松 広隆
東 祥三
糸川 正晃
岡本 英子
奥野 総一郎
小沢 鋭仁
川内 博史
小宮山 泰子
辻 恵
中川 治
中塚 一宏
初鹿 明博
原口 一博
福田 昭夫
松野 頼久
山花 郁夫
小川 敏夫
尾立 源幸
櫻井 充
佐藤 公治
武内 則男
谷 亮子
谷岡 郁子
藤田 幸久
安井美沙子